



## CONTENTS

- P2 ごあいさつ・2019年ハイライト
- P3 ORGAN事業構成マップ
- P4-7 [特集] 岐阜和傘産業の再生プロジェクト
- P8 ORGANロジックモデル
- P9 長良川めぐるツアーズ
- P10 世界農業遺産「清流長良川の鮎」担い手育成
- P11 長良川鵜飼棧敷
- P12 2019年度 活動計算書
- P13 数字で見るORGAN
- P14 2020年度事業方針
- P15 ORGANの活動に参加するには

団体名 NPO法人 ORGAN  
 所在地 岐阜市湊町45  
 設立 平成23年2月17日  
 理事長 蒲 勇介  
 事業内容 「長良川おんぱく」事務局、長良川デパートにおける小売事業、ORGANキモノレンタルサービス、オンパク手法による地域支援事業、長良川流域観光推進協議会各種業務、その他観光まちづくり支援事業

取引先 岐阜県、岐阜市、桑名市、(株)JTB中部、(株)JTB、名鉄観光サービス(株)、近畿日本ツーリスト(株)

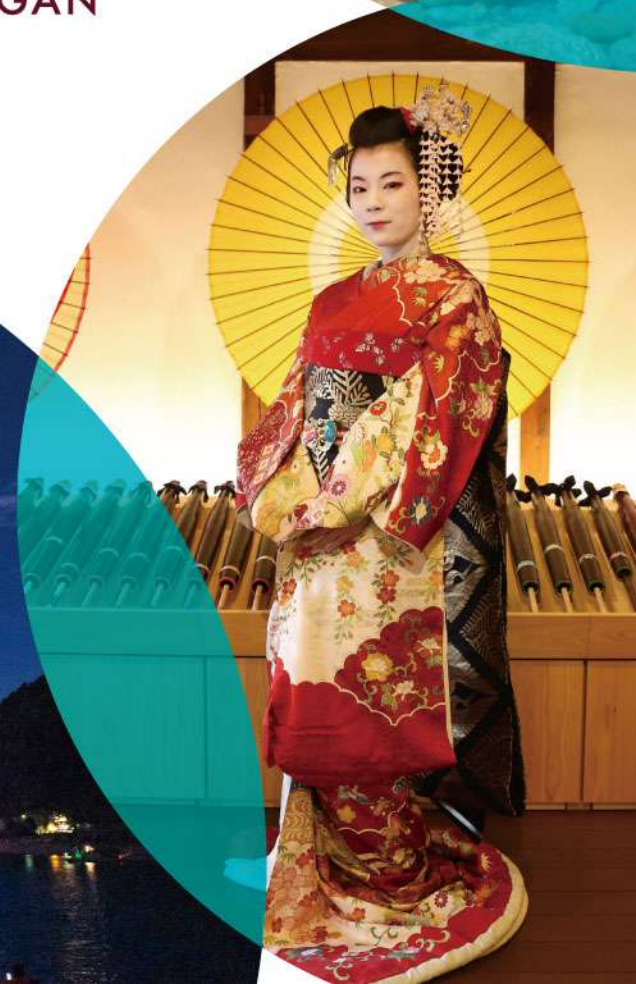
TEL 058-269-3858  
 FAX 058-269-3857



ORGAN

# ANNUAL REPORT

## 2019 NPO法人ORGAN 年次報告書



# ごあいさつ

未来に向けて、大切なものを守りたい  
守るためのしくみづくりを仕掛ける団体に

新型コロナウイルスの感染拡大により、社会全体が停滞する中、『結局、本当に大切なものはなんだったのか?』という問いを、多くの人を持ち始めていると思っています。今落ち着いて振り返れば、ここ数年はインバウンド"バブル"の最中、地方創生政策を通し地域づくり分野でも "KPI"が重視され競争的な環境が作られてきていたと感じています。それが一転、移動自粛で人の移動が制限され、改めて足元の地域の価値を評価し、地域経済圏でどうやって生きていくのか、という命題に世界全体が向き合っているのが今だと思います。

足元の本物の価値を発掘、磨き上げ、商品にしながらか地域経済圏を形成する。

これは、ORGANが目指し、訴え、表現し続けてきたことでもあります。

2019年度までの取り組みで、ORGANは、大切なものを守るための大きな武器を手に入れました。それは、"ロジックモデル"や"変化の法則"を活用した、"守るための仕組みづくり"の考え方です。

本年次報告書もその一つ。これまでORGANが伝えきれなかった考え方をお伝えし、仲間になってもらうための報告書です。

一緒にこれから、大切なものをしっかり守れる地域を育てていきましょう!

NPO法人 ORGAN 理事長 蒲勇介

## 2019年度ハイライト

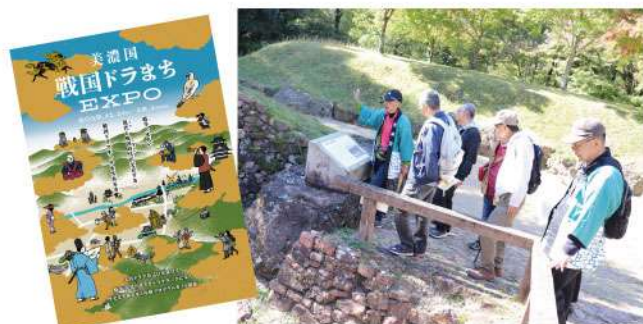
### 1 長良川鶺鴒棧敷で新たな鶺鴒観覧スタイルを実験



### 2 岐阜和傘協会を設立し、部品職人の育成開始



### 3 美濃国戦国ドラマちEXPOと美濃国戦国案内人始動



### 4 世界農業遺産「清流長良川の鮎」担い手育成開始!



## 2019年度ORGANの事業構成マップ



発掘  
長良川流域の自然・暮らし・生業

# 長良川流域文化を未来に継承するための第一歩 岐阜和傘産業の再生プロジェクト

2016年に長良川デパート湊町店で販売を始めた岐阜和傘。

私たちは和傘の販売を通して、エゴノキ、ろくろという部品供給の仕組みから岐阜という町の産業構造に至るまで、背景にあるストーリーに触れるにつれ、和傘こそが長良川の恵みを体現したプロダクトであるという仮説にたどり着きます。

2018年には「わがまち基金」とクラウドファンディングで集まった資金を活用し、長良川の手仕事情報の発信拠点「長良川てしごと町家CASA」を整備。岐阜和傘を核に「長良川流域ブランド」を伝えるための取り組みを行ってきました。

CASA開設以降、和傘をフックにメディア露出や公的な

場での発信の機会が増え、長良川のてしごとに対する関心は高まりつつあると感じます。藤浪小道具の近藤さんなど心強い理解者との出会いもありました。

こうした過程を経て、和傘の需要喚起と市場開拓を着実に進め売上増大の手応えを得るとともに、2019年には「一般社団法人岐阜和傘協会」設立と職人募集のクラウドファンディングを通して、「後継者の不在」という業界が直面する課題と向き合うこととなります。

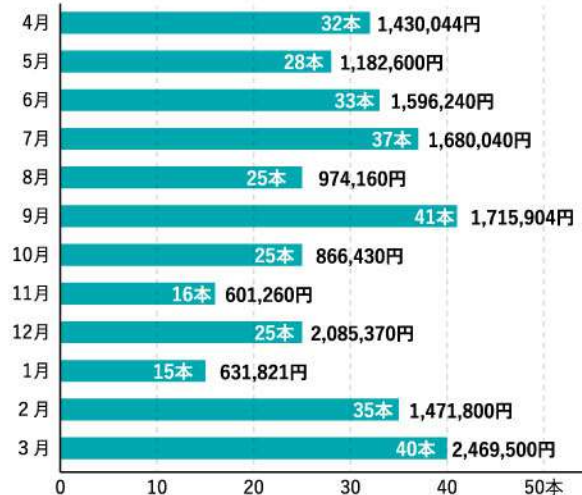
これらの動きにORGANがどのように関わり、何を達成したかったのか。和傘にまつわる活動を一業界のムーブメントとしてではなく、長良川文化を未来につないでいくためのモデル事業と位置づけ、その取り組みを紹介します。

## ORGANと岐阜和傘 これまでのあゆみ

長良川デパートで和傘の販売を始めた2016年、岐阜の和傘産業はまさに“風前の灯”でした。2019年の和傘協会設立に至るまでオルガンと和傘がどのように関わり、変化してきたのかを数字で振り返ります。

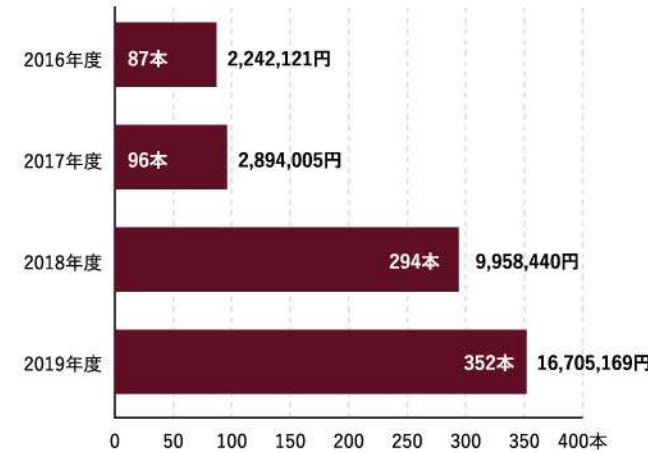


2019年度 CASA実績



合計 352本 売上 16,705,169円

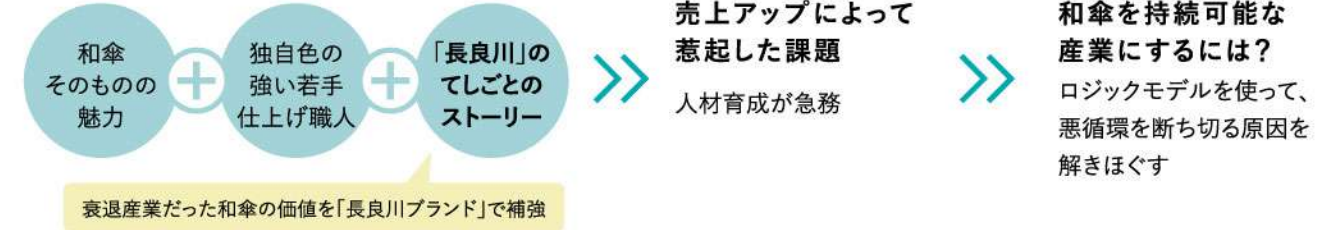
年度別 CASA実績



4年間の総販売数・総売上  
合計 829本 売上 31,799,735円

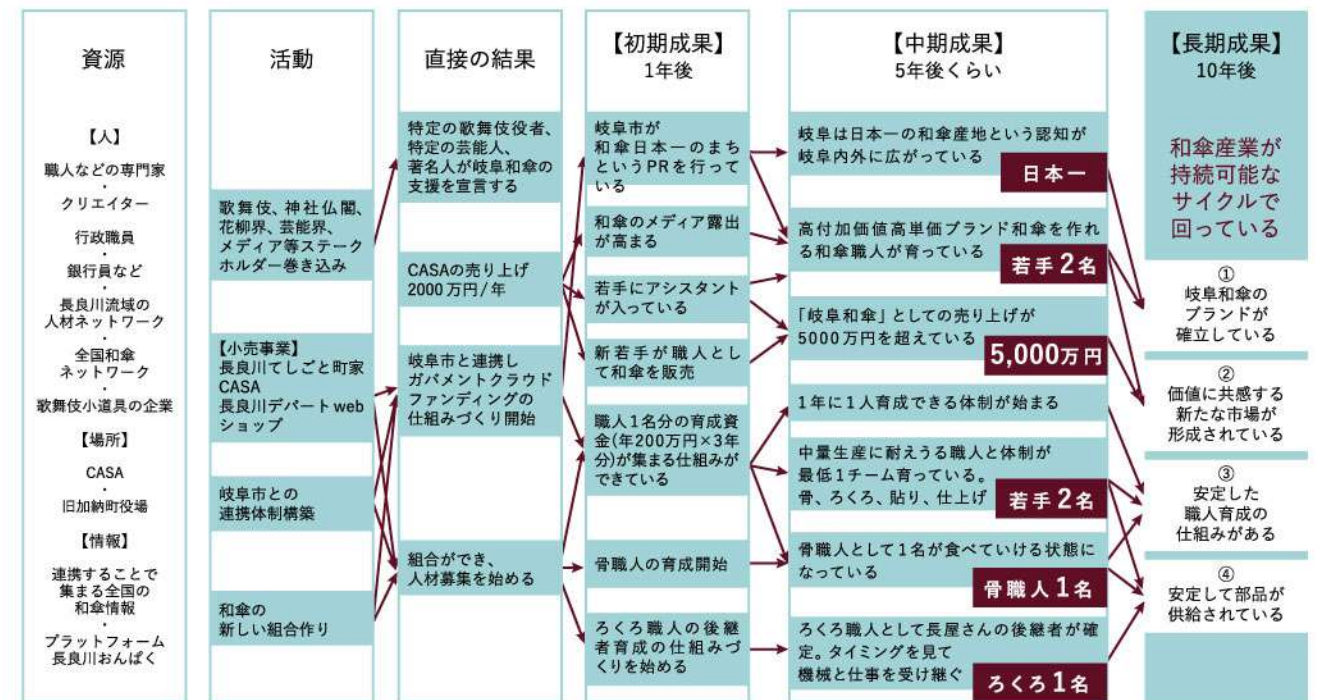
## なぜ『和傘』なのか ロジックモデルに基づく解説

CASAで和傘が売れた理由



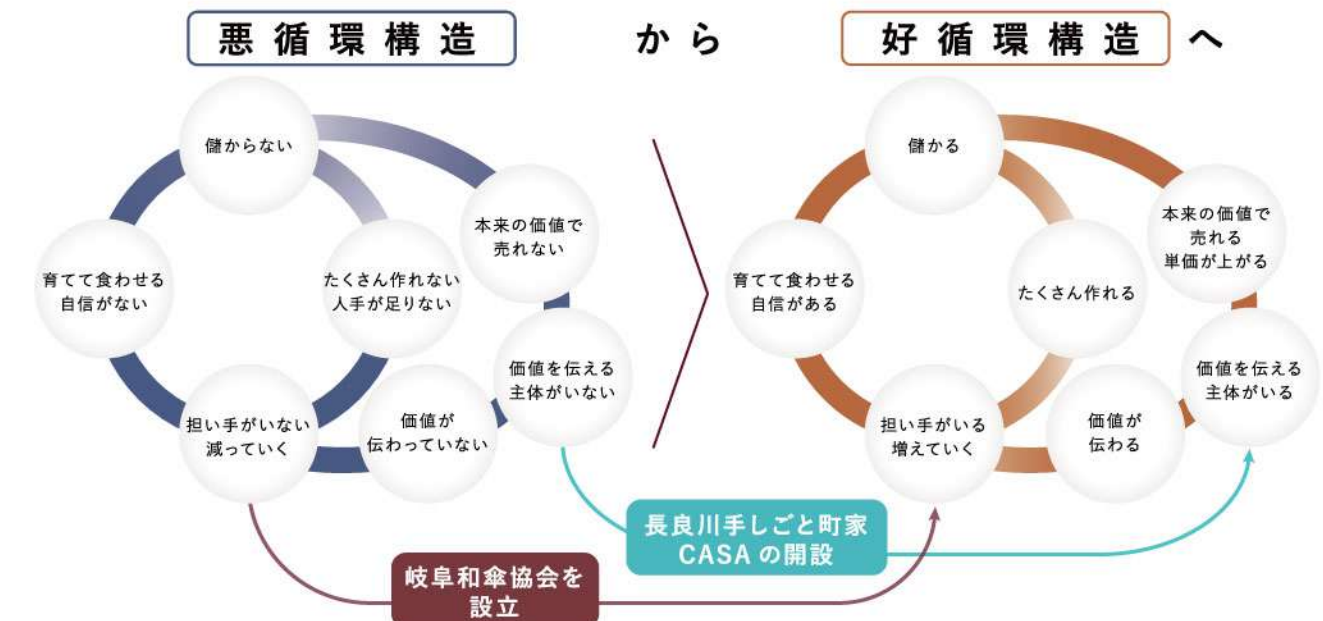
## 持続可能な岐阜和傘産業の実現に向けたロジックモデル

長期成果を描き、今日の前の取り組みがどうそれと繋がるのかをロジカルに説明し、合意形成に繋げる



## 岐阜和傘産業の“変化の法則”

課題の構造を分析し好循環に変えるために手を打ちどころを見つけ出す

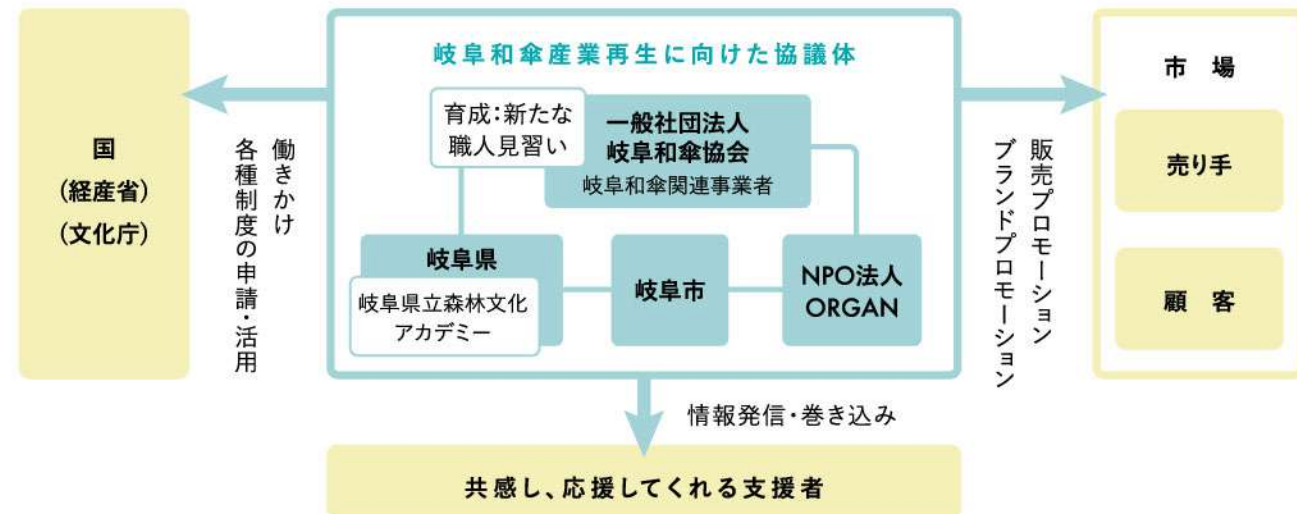


## 2019年度 岐阜和傘協会設立までの流れ

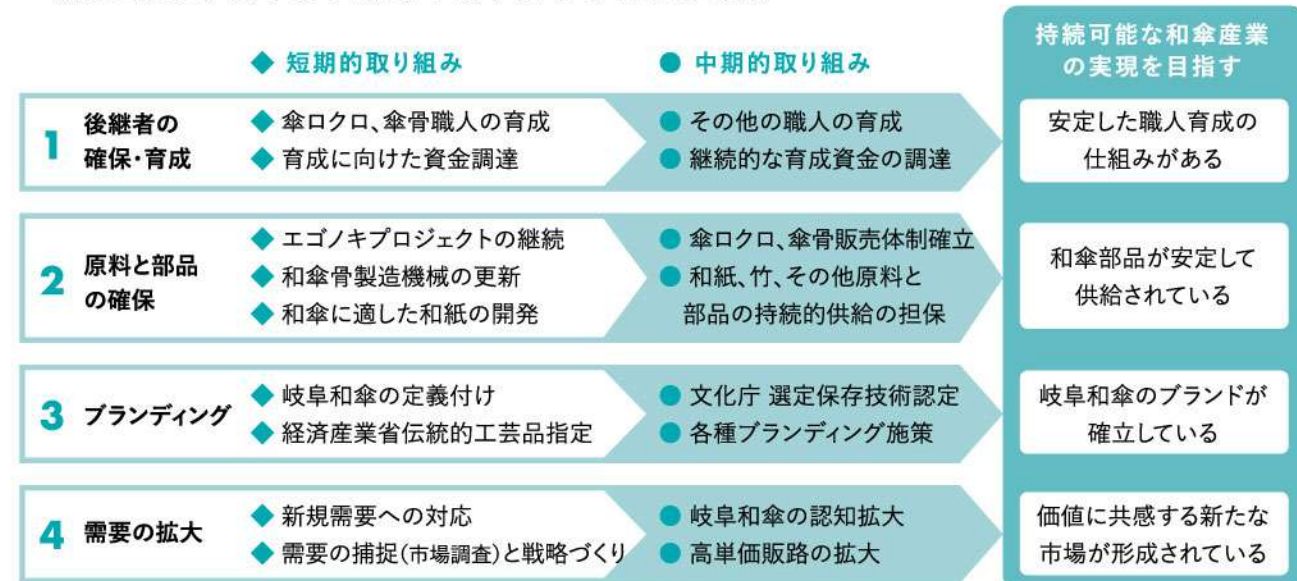


### 岐阜和傘産業再生に向けたステークホルダーマップ

2019年度は課題循環図に基づき「主体形成」に注力した1年でした。



### 一般社団法人 岐阜和傘協会の取り組みと目指す未来



## 長良川文化の継承のために オルガンが取り組むこと

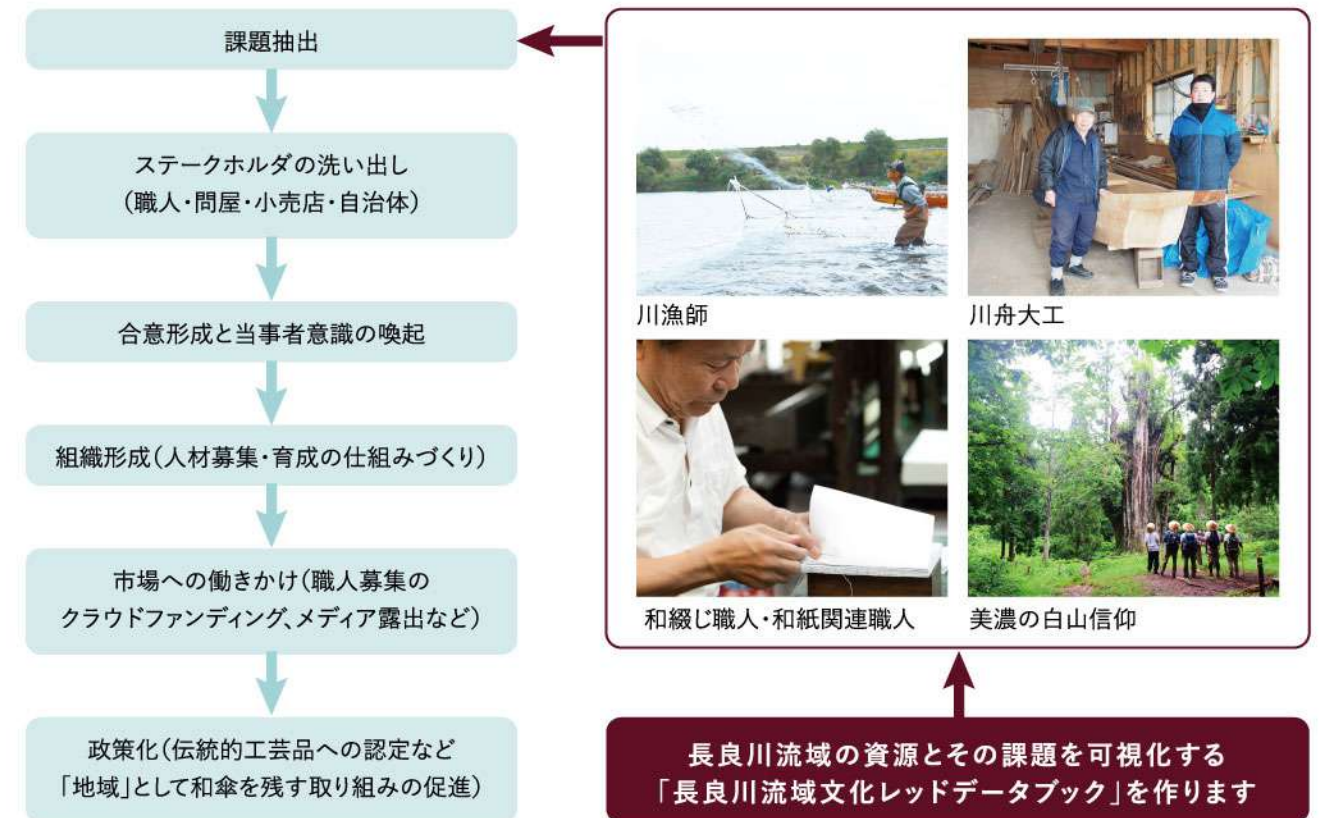
岐阜和傘復活プロジェクトのひとつの成功は「長良川文化を後世に伝える」という私達オルガンの取り組みが、産業の担い手や地域にとって有効なアイデアであることを教えてくれました。

今後も流域の文化や景観と向き合い、同様のプロセスを実践していくことで価値を高め、持続可能な長良川文化を創出する取り組みを展開していきます。



### 岐阜和傘復活プロジェクトで 実践したこと

### 残したい資源・風景



## 岐阜和傘の再生で見てきた ORGANの課題解決アプローチ



# ORGANが2030年までに取り組む 「生業が次世代に受け継がれている長良川流域の実現」 に向けたロジックモデル

NPO法人ORGANはこれまで、法人として10年間、長良川流域の文化を発掘・活用する取り組みを行ってきました。2011年に開始した長良川おんぱくのパートナーをはじめ、流域文化の担い手の皆さんが、ここに来て大きな変化にさらされていると感じています。

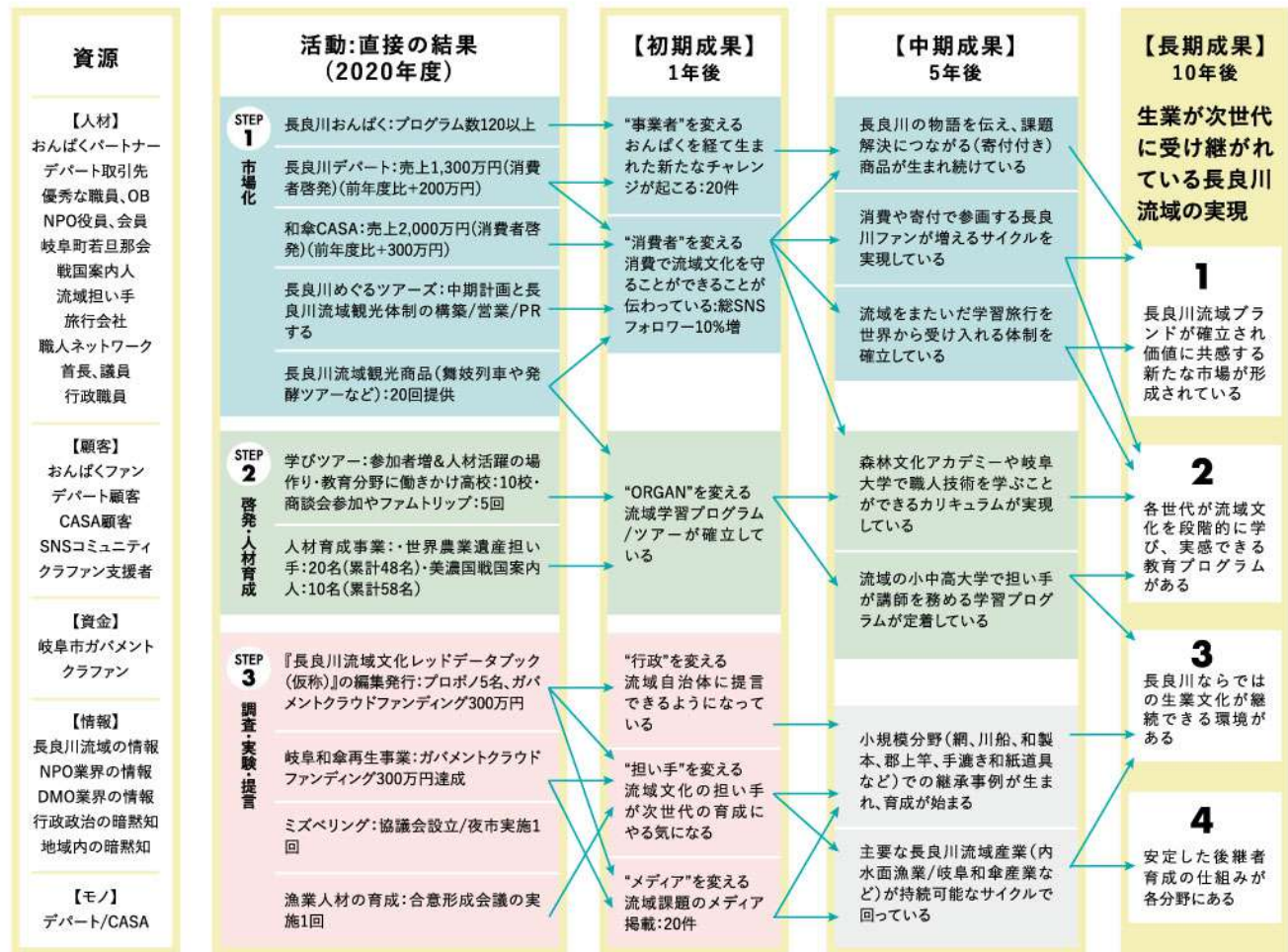
直近にはもちろん、新型コロナウイルス感染拡大による市場の変化があります。しかしそもそも伝統産業の担い手は高齢の方が多く、伝統的な技術や知恵を担ってきた世代が次々と引退されています。30代～40代の次なる世代にバトンが渡るパターンもありますが、後継者がおらず閉業し、技や知見が受け継がれないまま伝統文化が失われつつある分野が散見されます。

岐阜和傘の若手職人や川漁師・平工頭太郎さんなど、メディアに登場する伝統文化の担い手は増えてきている

印象ですが、彼らが使う道具・原料・部品などの周辺産業にも目を向けてみると、出荷量の減少により単体で業が成立せず持続性に乏しいものが多いことがわかってきました。そして伝統的生業はこれら周辺産業を含めた「クラスタ」として認識し、クラスタ全体で持続性を担保していかなければならないと考えています。

現在進行中の岐阜和傘の産業再生はこのようなクラスタ単位での持続性を作っていく取り組みであり、消費者や職人がともに原料を取りに山に入ったり、部品職人の希少性や重要性がメディアに掲載されたりしています。

今後ORGANでは、この岐阜和傘の取組みにおける①市場化→②啓発・人材育成→③調査・実験・提言の3ステップを他分野にも展開することで、長良川流域らしい生業を未来に継承していきたいと考えています。



## 市場化 CASE 1

# 長良川めぐるツアーズ



「長良川めぐるツアーズ」はオルガンが2018年7月に設立した旅行会社です。

おんぱくやその他の取り組みを通して育まれた世界観と体験を「より長く」「より深く」体感してもらうために、宿泊/交通とパッケージングして販売することが可能になりました。2020年度はこれまで開発してきたコンテンツを活用しつつ、旅行会社であることのメリットをいかに発揮するかを考える重要な一年になります。

### STEP 1



#### テストマーケティング

「おんぱく」を通して有望なプログラムをピックアップ

### STEP 2



#### コンテンツ開発

定常販売に向けてパートナーとともに条件や受入体制を整備

### STEP 3



#### 販路開拓

旅行代理店/OTA/ウェブ直販

### STEP 4



#### 集客

プロモーション/メディア活用/旅行代理店連携

重点課題

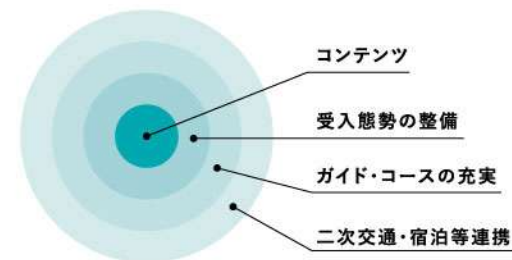
## 事業責任者の声/今後の方向性

今後の課題は「どのように売上を伸ばし、「長良川流域」という観光圏を確立していくか」。

そのためには従来オルガンが得意としてきたコンテンツ開発と高単価高付加価値の集客モデルに加えて

- ①受入体制の整備  
いつ・どこに申し込めば・何ができるかを常に明確にする体制
- ②ガイド・コースの充実  
コンテンツを補強し、弾力的な受入を可能にする仕組み
- ③二次交通・宿泊等連携  
団体受入を想定した地域内周遊と滞在時間延伸の仕組み

を構築し、事業をスケールするという方向性も考えられます。ただこれらを実現するには専任スタッフの雇用や、岐阜バス・長良川温泉等これまで関わってきた方々より大きな事業規模で連携していく必要性もあり、何に・どこまでオルガンがコミットするのか、またどの程度の投資価値があるのかを冷静に見極めて成長戦略を策定していかなくてはならないと感じます。



## その他

### 1 長良川・清流の担い手育成事業

長良川の魅力を伝えることができるガイドを育成し、特に修学旅行や社会科学等教育系団体に向けたサービス提供ができる体制を整備

### 2 「鶺鴒」の高付加価値化

鶺鴒観覧船の手配契約には旅行会社免許が必須。舞妓舟遊びなどを組み合わせることで「長良川めぐるツアーズ」の稼ぎ頭になる可能性を大いに含んでいる。

### 3 長良川体験チケット

流域周遊を促す補助的なサービス。流域4市の施設で定価よりお得に体験を楽しむことができる。

## 育成 CASE 1

# 世界農業遺産「清流長良川の鮎」 担い手育成事業

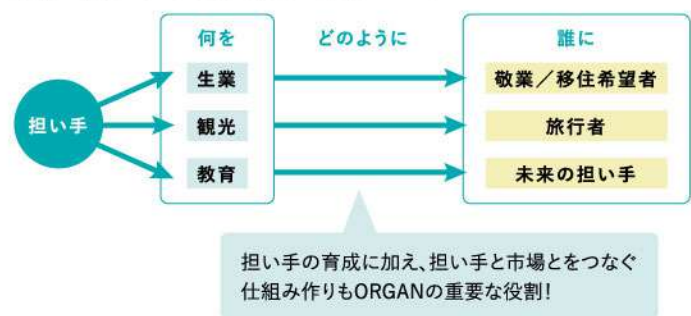
「世界農業遺産・清流長良川の鮎」とその背景にある「長良川システム」が生み出す恵みを体現し、広めていく「担い手」を育成することを目的に岐阜県里川振興課より受託した事業です。

初年度の2019年度には5回のワークショップや研修ツアーを通して、28人の担い手を認証。域内外に「長良川流域」の魅力を伝える「教育」や「観光」など、今後オルガンが取り組むべき事業での活用も期待されます。(2020年度も岐阜県事業として継続予定)



### 今後の方向性

研修を通じた担い手育成に加え、「担い手」と「市場」を繋ぐ導線を設計し積極的に実践の機会を創出します。



### その他

#### 1 戦国案内人

2017年から取り組んでいる日本遺産ガイド育成事業が大河ドラマ放送を機に「戦国案内人」にバージョンアップ。ガイド育成、組織形成、ガイド派遣のサイクルを先んじて実行中。



#### 2 舞妓の育成

2019年にデビューした鳳川伎連の「喜りん」は実はオルガン所属の舞妓さん。船遊びやお座敷遊びなど長良川文化の担い手として活躍に期待。



### 事業責任者の声

世界農業遺産「清流・長良川の鮎」のもつ世界的価値を求めて観光客が訪れる流域ツーリズムのガイドとしての活躍を目指しています。

流域の地域資源の担い手を知りつなぐことで、伝統漁法や伝統工芸など後継者育成の課題がある分野に対して支援したりまた価値を伝える人材として次世代の担い手育成のため地域学習の講師として活躍して欲しいと考えています。

## 実験 CASE 1

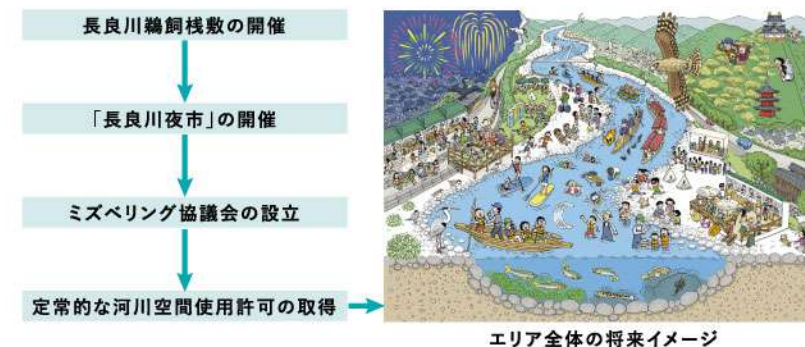
# 長良川鵜飼棧敷

長良川鵜飼棧敷は新たな鵜飼観覧のスタイルの提案と付加価値向上のための試みとして観光庁の「令和元年度最先端コンテンツインキュベーター事業」に採択された社会実験的な事業です。ELEPHANT designの門脇さんが設計した3台の棧敷が金華山と相対する河畔に並ぶ風景は圧巻で、芸伎の技が鵜飼の夕にさらなる花を添えました。国交省・鵜飼事務所・鵜匠・長良川温泉など多様な主体との連携しながら、プロダクト単体としての完成度をあげるとともに、未来の河川空間活用の在り方を示す意欲的な事業になりました。



### 今後の方向性

「ミズベリング」から「かわまちづくり」へ  
棧敷の造成は第一歩。魅力的な河川空間の創出に向けて組織づくりからハード整備まで本腰を入れて取り組んでいきます。



### その他

#### 1 鵜飼観覧船の高付加価値化

岐阜市観光コンベンション協会の企画で「女子旅クルーズ」をプロデュース。特別詠いの観覧船は棧敷や舞妓舟遊びと並んで、鵜飼の高付加価値化と収益性アップの可能性を秘めている。

#### 2 長良川のんべえ泊覧会(長良川のんべく)

冬季の来訪者増を目指し「清流・長良川の美酒」に絡めた様々なコンテンツをおんべく型プラットフォームで展開。地酒タクシーやバスツアー、地酒祭りなど幅広いチャンネルで長良川流域の酒をPRし、ブランド構築に向けた取り組みを行った。

### 事業責任者の声

「鵜飼観覧のスタイルをアップデートすること」を目的にスタートしたこの事業。台風や大雨の影響で多くの予定が流れ、開催日数もわずかとなりましたが、結果的に国内外問わず自信をもって提供できる完成度の高いコンテンツが出来上がりました。コンテンツベースでは、棧敷をフックに名古屋など近隣圏からの集客の手応えを得たこと。長期的な視点では、「ミズベリング」促進の機運が多くステークホルダーの間で共有され、今後の展開を考えるきっかけとなったことが大きな収穫だったと感じます。

# 2019年度 活動計算書

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

科目	金額	(単位:円)
<b>I 経常収益</b>		
1. 受取会費		
正会員受取会費	174,000	
入会金会費	11,000	185,000
2. 受取寄付金		
受取寄付金	103,570	
資産受贈益		
施設等受入評価益		
ボランティア受入評価益		103,570
3. 受取助成金等		
受取助成金		
受取補助金	1,024,000	1,024,000
4. 事業収益		
事業収益	77,181,569	77,181,569
5. その他収益		
受取利息・配当金	157	
受取賃借料	6,762,249	
為替差益		
雑収入	15,544	6,777,950
経常収益計		85,272,089
<b>II 経常費用</b>		
1. 事業費		
(1) 人件費		
役員報酬	5,628,000	
給料手当	14,099,875	
臨時雇賃金	2,436,881	
ボランティア評価費用		
法定福利費	3,002,433	
退職給付費用		
通勤費		
福利厚生費	40,800	
人件費計	25,207,989	
(2) その他経費		
売上原価	19,903,643	
業務委託費	13,573,708	
諸謝金	661,942	
印刷製本費	2,262,765	
会議費	367,186	
旅費交通費	2,119,276	
車両費		
通信運搬費	1,170,257	
リース料	510,910	
消耗品費	1,347,483	
修繕費	328,486	
水道光熱費	219,025	
地代家賃	6,319,225	
減価償却費	1,041,278	
保険料	204,020	
諸会費・負担金	227,600	
租税公課	9,650	
広告宣伝費	995,961	
研修費	897,990	
支払手数料	986,553	
保守委託料		
雑費	25,469	
その他経費計	53,172,427	
事業費計		78,380,416

昨年度より4,802,677円増加しました。事業収入の中心であるおんぱく関連の収入を維持しつつ、CASAのオープン等、自主事業の売上が増えています。

昨年度より2,480,082円増加しています。業務委託費等削減されている項目はありますが、人件費の増加やサブリース物件増による家賃支払いが増えています。

科目	金額
<b>2. 管理費</b>	
(1) 人件費	
役員報酬	
給料手当	2,470,290
法定福利費	374,744
退職給付費用	
通勤費	
福利厚生費	226,857
人件費計	3,071,891
(2) その他経費	
印刷費	
会議費	239,312
旅費交通費	6,402
車両費	
通信運搬費	77,755
消耗品・事務用品費	202,356
修繕費	40,900
水道光熱費	280,028
地代家賃	1,130,670
研修費	6,381
諸会費・負担金	167,108
支払利息	547,298
租税公課	117,880
支払手数料	396,055
雑費	419,485
その他経費計	3,631,630
管理費計	6,703,521
経常費用計	85,083,937
当期経常増減額	188,152
<b>III 経常外収益</b>	
1. 固定資産売却益	
2. 過年度損益修正益	
経常外収益計	0
<b>IV 経常外費用</b>	
1. 固定資産除売却損	
2. 災害損失	
3. 過年度損益修正損	
経常外費用計	0
<b>V 経理区分振替額</b>	
経理区分振替額	
税引前当期正味財産増減額	188,152
法人税、住民税及び事業税	72,000
当期正味財産増減額	116,152
前期繰越正味財産額	1,554,462
次期繰越正味財産額	1,670,614


ORGANの運営をしていくための維持管理費用が計上されています。前期比1,617,200円削減され、より効率的な運営ができました。

法人税を支払いした後のORGANの今期の利益に相当します。前期は3,823,643円と大幅な損失を計上したため、大きく改善された項目です。


この活動計算書は会計帳簿の記載金額と一致し、NPO法人ORGANの収支を正しく示していることを認めます。

担当理事 籠原潤一  
監事 田代達生


# 数字でみるORGAN




設立  
**9年**




有給スタッフ数  
**8人** (3月末時点)



会員数  
**61人**




寄付収入額  
**103,570円**




研修数  
**33回**  
**636人**

ツアー・体験プログラム

**497回**  
**4,155人**






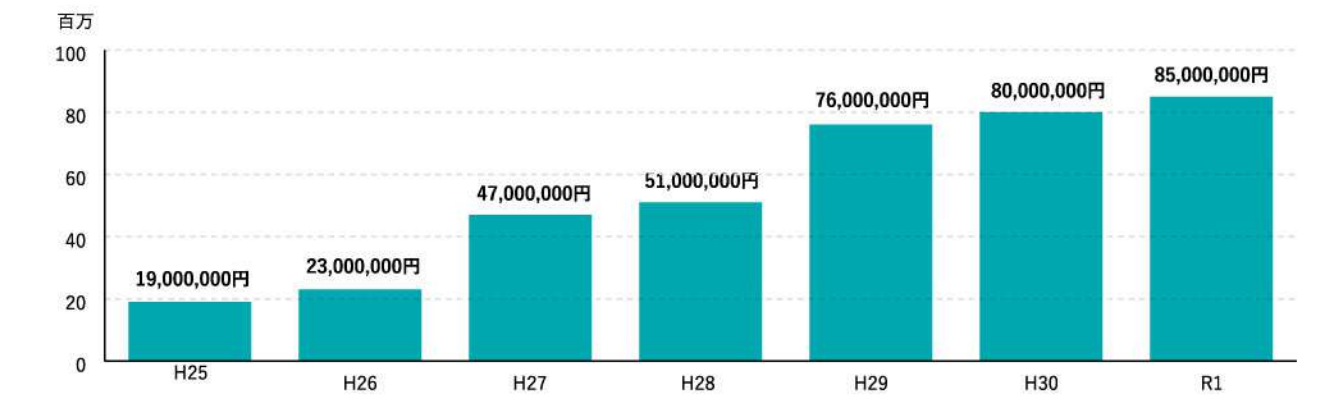
メディア掲載数  
**197回**

移転したおんぱく

岐阜・三重・高知・福島



## ORGAN事業収益推移



# NPO法人ORGAN 2020年度事業方針

## 大切なものを守るため、次の一步を踏み出す1年に

新型コロナウイルス感染拡大と社会・経済の大きな変動が進む中であっても、当法人が取り組む仕事は変わりません。むしろ、足元の価値を発掘・磨き上げ、地域内経済循環を進める私たちの存在意義が高まり、同時に問われる年となると考えています。

まず、10年目となる長良川おんぱくの事務局として、どう過ごしていくか。広告協賛に期待できない年ですが、疲弊している事業者支援の観点に立って開催できないか検討を進めます。

長良川おんぱく実行委員会で観光庁よりの支援を受け、昨年度実証実験を行った長良川鶴飼棧敷は、これまでよりも多くのステークホルダーの巻き込みにつながり、国土交通省木曾川上流河川事務所・岐阜市との連携によるミズベリング協議会(仮)設立に向けた動きが具体化しています。中長期的な川辺の活用を、公民連携で進める第一歩を踏み出したいと思えます。

そして、本2019年度年次報告書の主要コンテンツともなっている「大切なものを守るための仕組みづくり」。和傘を通してモデルを形成しつつある、市場化→調査実験→政策提言の3ステップを用いて、川船大工や他の和紙工芸など、長良川流域文化の担い手支援を具体化し前進させる年にします。

もう一点、大河ドラマ「麒麟がくる」を受け行政との協働によるガイド育成・派遣事業により生まれた全国の旅行会社とのつながりを活用し、アフターコロナを見据えた長良川流域の観光商品を開発、提供していきたいと思えます。旅行会社としてのビジネスサイクルを回し始める1年としたい。

NPO法人ORGANの事業モデルと目指すビジョンをより明確に発信し、新たな支援者を集め寄付収入の拡大と、認定NPO法人化に向けて動きはじめます！



# ORGANの活動に参加するには？

ORGAN長良川サポーターとして、長良川流域を取り巻く課題の解決を支援できます。課題設定をし、リサーチやミーティング、イベント運営をすることを想定しています。また、マンスリーサポーターでは、ORGANの活動全体を支援することができます。月額の寄付金額コースは300円、500円、1,000円、2,000円、10,000円、20,000円になります。



### NPO法人ORGAN ORGAN正会員

総会の議決権を有する会員です。会費は年30,000円です。今後、事業展開を行う中で定期ミーティングの参加等によりORGANに関わることが出来ます。長良川流域に現場を持ちORGANとビジョンを合わせて活動する方を想定しています。

#### 入会ご希望の方

NPO法人ORGAN  
TEL 058-269-3858  
までご連絡をお願いします。

### ORGAN長良川サポーター (マンスリーサポート会員)

総会への議決権はありません。月額の寄付金額コースは、300円、500円、1,000円、2,000円、10,000円、20,000円です。会費は寄付金としての性格を持っています。長良川流域文化を守ることを願って活動を支援頂くことを想定しています。総会に対してはオブザーバーとしての参加は可能です。

#### 入会ご希望の方



株式会社めぐるの運営する社会課題解決支援サイト「凸と凹」内のプロジェクトからマンスリーサポーター会員に登録できます。  
<https://deco-boco.jp/projects/view/13>

### プロボノ

ORGANが定義する特定のミッションに対して一緒に取り組む人を募集します。最初は長良川レッドデータブックの作成を考えています。今後のワークショップを踏まえ募集、活動の開始をします。

## NPO法人ORGANの活動をフォローしてください！

Facebookページへの『いいね!』を宜しくお願いします。

「NPO法人ORGAN」「長良川おんぱく」「長良川STORY」「長良川デパート」「ORGANキモノ」「Classca-Gifu」

